

問題解決実習 食堂の改善案を提案しよう！①

<ねらい>

- ①自分たちで課題を発見・解決を提案する問題解決の力を育てる
- ②KJ法、ブレインストーミングなど問題解決のための手法を考える
- ③自分たちの考えを、わかりやすく伝える発表を行う。
- ④発表を相互評価することで、評価する視点に慣れる。

<手 順>

実習1. 食堂の課題を発見する（KJ法）

- ①学校の食堂のよいところ（強み）と課題なところ（弱み）を個人で3つずつ付箋紙に書き出す
- ②画用紙に、個人で書いた描いた強みと課題をそれぞれ貼り付け、相談しながら似たような内容をグルーピングしよう
- ③グルーピングした画用紙をもとに、強みと弱みを発表しよう。

実習2. 実習1の発表をふまえた解決提案を考える

- ①学校の食堂をよりよくするための具体的な提案をブレインストーミングで考える。
ヒント：解決方法には強みをより強める、弱みを改善する二つの方向性があります
1で上がったテーマのうち一つを選び、その解決を考えましょう！
- ②提案に説得力をもたせる根拠として、自分たちなりの課題の分析、生徒アンケート・取材・他校の例などを調べる
- ③プレゼンテーションソフトなどを使い、これまでの調査結果をまとめる
スライドのイメージとしては：
1枚目：グループ名・メンバー
2・3枚目：食堂の課題・裏付ける根拠
4・5枚目 解決提案・その根拠
- ④提案の示し方については、動画や模造紙など工夫してもらってよい

<発表・評価>

- ①発表について相互評価・教員評価を行う。（グループごと）
（観点は、発表の方法・内容・スライドの工夫 です。）
- ②グループ内の個人作業について、グループ内評価を行う。
（評価方法は：点数をグループ内で貢献順に配分する方法で行います）
- ③最後に自己評価・考察を行います。（各自で）

問題解決実習 食堂の改善案を提案しよう！②

実習1 食堂の課題を発見する（KJ法実習）

<ねらい>

問題や課題発見・分析のための手法であるKJ法を体験的に学び、同時に課題を発見する

※KJ法＝データをカードに記述し、カードをグループごとにまとめて、図解し、まとめてゆく方法。「創造性開発」（または創造的問題解決）に効果がある。

<手順>

STEP 1 個人で考える

1. 学校の食堂のいいところ（強み）と課題（弱み）を3つ考え、記入してください。

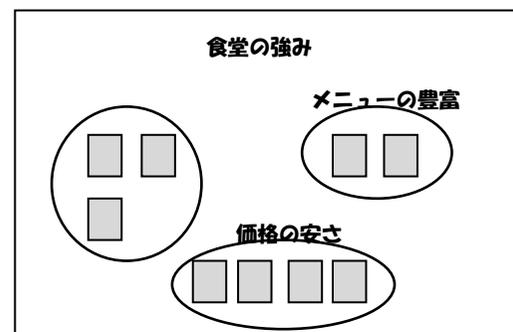
| いいところ（強み） | 課題なところ（弱み） |
|-----------|------------|
| | |
| | |
| | |

2. 付箋用紙に、1で書いた強みと弱みをキーワードで1枚につき1つ書いてください

STEP 2 グループで話し合う

1. 画用紙にそれぞれが書いた付箋を貼り付けてください
 - ・画用紙の1枚は「強み」、1枚は「弱み」ばかりをはりつけてください
2. 画用紙にはりつけたキーワードを見ながら似たような項目を集めて、グループ分けしてください。

<イメージ図>



- ①まずは「強み」から
- ②わからないキーワードがあれば書いた人に説明を求めてください。
- ③グループを区切る線、言葉の追加は画用紙に書き込んでください
- ④似たような項目に分類ができれば、そこにタイトルをつけましょう。

- ⑤「強み」が分類できたら、「弱み」を同じように分類しましょう

STEP 3 発表して共有しよう

1. 画用紙を見せながら、グループで出した内容・分類した結果を発表しましょう
 - ①発表のときにはグループ全員が前に出ること
 - ②発表の分担はグループごとにまかせます

<ワークシート>

1. グループの意見を簡単にまとめましょう

2. これに対する自分の意見を書いてください

3. ほかのグループの発表で参考になりそうなことをメモしましょう

4. 実習をやってみた感想を書いてください

高校2年 組 番 (名前)

問題解決実習 食堂の改善案を提案しよう! ③

実習2 課題の解決を提案する

<ねらい>

- ①ブレインストーミングの方法を体験的に学び、解決案を考える

※ブレインストーミング=集団でアイデアを出し合うことによって相互交錯の連鎖反応や発想の誘発を期待する技法

- ②解決案に説得力を持たせるための工夫を考える
- ③解決案をわかりやすく発表する

<手順>

STEP 1 ブレインストーミング

1. どの課題に対し、どのような解決提案をだすか、ブレインストーミングで意見を出し合いましょう

- ①課題と解決提案については、次のような発想で考えるといいです

強みから →その強みをいっそう強める、活かし、さらによくする提案

弱みから →弱みをなくす、改善する提案を考える

- ②ブレインストーミングで、とりあえず意見を自由に並べていきます。

※今回は思いつくアイデアを付箋に書いて、話し合いで出た意見があれば、さらに付箋を追加して貼り付けましょう。そうすればアイデアがわかりやすいです。

ブレインストーミングのルール

1. 判断・結論を出さない(結論厳禁)
自由なアイデア抽出を制限するような、判断・結論は慎む。
2. 粗野な考えを歓迎する(自由奔放)
誰もが思いつきそうなアイデアよりも、ユニークで斬新なアイデアを重視。
3. 量を重視する(質より量)
様々な角度から、多くのアイデアを出す。
4. アイディアを結合し発展させる(結合改善)
アイデアをくっつけたり一部を変化させたりすることで、新たなアイデアを

- ③ブレインストーミングで出てきた意見をもとにグループでだす提案をしぼる。

<ワークシート>

1. ブレインストーミングで出た意見を箇条書きでメモしましょう

2. ほかのグループの発表で参考になりそうなことをメモしましょう

STEP 2 グループとしての提案を作っていきます

1. グループとして取り上げる提案を書きましょう

2. 提案に説得力を持たせるための方法

(例) 他校の例・取材・アンケート、分析・



3. プレゼンテーションソフトなどを使い、これまでの調査結果をまとめる

スライドのイメージとしては: 1枚目: グループ名・メンバー

2・3枚目: 食堂の課題・裏付ける根拠

4・5枚目 解決提案・その根拠

※提案の示し方については、動画や模造紙など工夫してもらってよい

問題解決実習 食堂の改善案を提案しよう！④

<手順>

STEP 1 解決すべき課題を確認する

- ・ 前回の話し合いの結果から、自分の班が解決案をだす課題を選ぶ

STEP 2 この課題をどういう提案で解決するかを考える

- ・ 提案の大まかなイメージ

- ・ 提案の細かな内容を箇条書きで書きだす

STEP 3 提案をどうやって説得力をもたせるか考える

- ・ 調査すべき項目と方法を箇条書きで書きだす

STEP 4 グループの分担を決める

問題解決実習 食堂の改善案を提案しよう！⑤

発表・評価する

<ねらい>

- ①自分たちの考えを、わかりやすく伝える発表を行う。
- ②発表を相互評価することで、評価する視点に慣れる。

<手順>

- 1. グループとしての発表原稿を考えましょう（原稿は最後は提出してもらいます）
- 2. 発表のリハーサルをしましょう

<準備>

- 1. 自分のグループの提案のアピールポイント・工夫した点を書いてください・

| |
|--|
| |
|--|

- 2. 評価の準備を行う

- ①「高2」→「相互評価」→「プレゼン」で、自分の出席番号のファイルを開く。
- ②観点に沿って評価を行い、SABC（大文字半角）・コメントを記入する、
- ③すべての発表が終わったら、上書き保存して終了する。

<評価基準>

| | 評価項目 | A | B | C |
|------|---------------|-------|-------|-------|
| 発表 | ① 声の大きさ・言葉づかい | よく | だいたい | もう一工夫 |
| | ② 目線 | できている | できている | |
| デザイン | ①スライドのデザイン | よく | だいたい | もう一工夫 |
| | ②視覚的に訴えているか | できている | できている | |
| 内容 | ①ボリューム（量） | よく | だいたい | もう一工夫 |
| | ① オリジナリティ | できている | できている | |
| 説得力 | ①論理的に話しているか | よく | だいたい | もう一工夫 |
| | ②説明と結論が一致 | できている | できている | |

※ 標準がB、いいものがAで、Aの中でとくにすばらしいものにS

自己評価シート

| | A | B | C | 自己評価 |
|------------------------------|-----------------------|-------------------|-----------------------|------|
| 時間配分 | 時間を有効に使い、工夫を重ねた作品を作れた | 決められた時間内で作品を完成させた | 時間を無駄に使うことも多かった。 | |
| 制作態度 | 積極的に工夫し作品を完成させた | 指示通りの作品を作ることができた。 | なかなか手が動かず、作品制作に手間取った。 | |
| コメント (苦勞した点・反省・次へ向けた工夫など) | | | | |

◎グループ内評価:持ち点10点を自分以外のグループ員に貢献度に応じて配分してください。

| 名前 | | | |
|------|--|--|--|
| 計10点 | | | |

<考察> 他の班の発表を聞いて、よかった人・高い点数をつけたページは、どのような工夫・方法をしていたか考えて書いてください。

| |
|--|
| |
|--|

 高校2年 組 番 (名前)